

1. 科目名 (単位数)	社会調査法 (2 単位)	3. 科目番号	SSMP2107 SNMP2307 SCMP2307 SBMP2107 PSMP2407
2. 授業担当教員	大久保 圭介		
4. 授業形態	講義、小テスト、ディスカッション、調査方法に関する実習	5. 開講学期	春期/秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>本講義は国が定める社会福祉士および精神保健福祉士の養成カリキュラムにおける「社会福祉調査の基礎」(旧カリキュラムでは「社会調査の基礎」)に対応するものである。本講義では、社会調査および社会福祉調査の基礎的事項を学習するが、社会福祉調査は社会福祉領域での社会調査のことであるため、本講義の内容の多くの部分は社会調査に関するものとなる。</p> <p>社会調査の目的は、社会事象について現地調査を行い、データを収集して、調査結果から一般的な規則性を見出し、必要に応じて取るべき行動を定めようとするものである。現在、社会福祉など専門分野では、人々のニーズの把握や解決策を量的調査や質的調査に基づいて提案するなど科学的エビデンスが求められている。本講義を受講することにより、社会調査の重要性、世の中に氾濫する社会調査の真実や問題点、社会福祉領域における社会調査の活用法について把握することが可能となる。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.社会調査・社会福祉調査の意義と目的について理解し、説明できるようになる。 2.社会調査と社会福祉の歴史的関係について理解し、説明できるようになる。 3.社会調査・社会福祉調査における倫理や個人情報保護の留意点について理解し、説明できるようになる。 4.量的調査と質的調査の方法および調査の結果について適切に理解し、説明できるようになる。 5.仮説設定→質問項目作成→現地調査→データ分析→分析結果の発表という調査の流れについて見通しを持てるようになる。 6.ソーシャルワークにおける評価の意義と方法について理解し、説明できるようになる。 7.社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験に必要な基礎知識について説明できるようになる(受験予定学生の場合)。 		
9. アサイメント(宿題)及びレポート課題	シラバス及び授業内に指示した課題を授業ごとに回収又は確認をする。		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 橋本有理子編著『最新・はじめて学ぶ社会福祉 5 社会福祉調査の基礎』ミネルヴァ書房、2021。 *授業中に適宜資料を配布する。</p> <p>【参考書】 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 5 社会福祉調査の基礎』中央法規出版、2021。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.社会調査・社会福祉調査の意義と目的について理解し、説明できるようになったか。 2.社会調査と社会福祉の歴史的関係について理解し、説明できるようになったか。 3.社会調査・社会福祉調査における倫理や個人情報保護の留意点について理解し、説明できるようになったか。 4.量的調査と質的調査の方法および調査の結果について適切に理解し、説明できるようになったか。 5.仮説設定→質問項目作成→現地調査→データ分析→分析結果の発表という調査の流れについて見通しを持てるようになったか。 6.ソーシャルワークにおける評価の意義と方法について理解し、説明できるようになったか。 <p>○評定の方法 小テスト 40% 授業の態度や内容の把握など 30% レポート、調査方法に関する実習 30%</p>		
12. 受講生へのメッセージ	本シラバスの「社会調査・社会福祉調査の意義と目的について理解し、説明できるようになる」という目標を達成するために意欲を持ってのぞんでほしい。		
13. オフィスアワー	別途通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション、社会調査・社会福祉調査の意義と目的	事前学習	教科書第1章(pp.2~7)を通読し、不明な用語について各自ノート等にまとめておくこと。
		事後学習	学習記録への記入
第2回	社会調査・社会福祉調査の歴史、統計法の概要	事前学習	教科書第2章(pp.10~17)、第3章(pp.20~23)を通読し、不明な用語について各自ノート等にまとめておくこと。
		事後学習	学習記録への記入
第3回	社会調査・社会福祉調査における倫理と個人情報保護	事前学習	教科書第4章(pp.24~35)を通読し、不明な用語について各自ノート等にまとめておくこと。
		事後学習	学習記録への記入
第4回	社会調査・社会福祉調査の流れ	事前学習	教科書第5章(pp.36~45)を通読し、不明な

			用語について各自ノート等にまとめておくこと。
		事後学習	学習記録への記入
第5回	量的調査の目的と留意点、種類	事前学習	教科書第6章 (pp. 50~53)、第7章 1 (pp. 56~58) を通読し、不明な用語について各自ノート等にまとめておくこと。
		事後学習	学習記録への記入
第6回	量的調査の方法 (標本抽出法)	事前学習	教科書第7章 2 (pp. 58~62) を通読し、不明な用語について各自ノート等にまとめておくこと。
		事後学習	学習記録への記入
第7回	質問紙の作成方法と留意点	事前学習	教科書第8章 (pp. 64~75) を通読し、不明な用語について各自ノート等にまとめておくこと。
		事後学習	学習記録への記入
第8回	質問紙の配布と回収	事前学習	教科書第9章 (pp. 77~82) を通読し、不明な用語について各自ノート等にまとめておくこと。
		事後学習	学習記録への記入
第9回	量的調査の集計と分析 (1) データ分析までの流れ、度数分布	事前学習	教科書第10章 1・2(1) (pp. 85~88) を通読し、不明な用語について各自ノート等にまとめておくこと。
		事後学習	学習記録への記入
第10回	量的調査の集計と分析 (2) クロス集計と記述統計量	事前学習	教科書第10章 2(2)・3・4 (pp. 88~95) を通読し、不明な用語について各自ノート等にまとめておくこと。
		事後学習	学習記録への記入
第11回	量的調査の集計と分析 (3) 散布図、相関係数と回帰分析、重回帰分析	事前学習	教科書第10章 6(5)(6) (pp. 118~123) を通読し、不明な用語について各自ノート等にまとめておくこと。
		事後学習	学習記録への記入
第12回	質的調査の意義と目的	事前学習	教科書第11章 (pp. 134~137) を通読し、不明な用語について各自ノート等にまとめておくこと。
		事後学習	学習記録への記入
第13回	観察法と面接法	事前学習	教科書第12章 (pp. 140~148) を通読し、不明な用語について各自ノート等にまとめておくこと。
		事後学習	学習記録への記入
第14回	質的調査のデータ整理と分析	事前学習	教科書第13章 (pp. 150~160) を通読し、不明な用語について各自ノート等にまとめておくこと。
		事後学習	学習記録への記入
第15回	ソーシャルワークにおける評価	事前学習	教科書第14章 (pp. 164~171)、第15章 (pp. 174~184) を通読し、不明な用語について各自ノート等にまとめておくこと。
		事後学習	学習記録への記入
期末試験			